



体験学習事業を開催しました(県小学校にて)

各会場とも参加児童の皆さんの真剣さが伝わり黙々と作品を仕上げていく姿勢や児童の皆さんそれぞれの個性が輝き強く印象に残る作品ができていました。何よりも終了後に児童の皆さんが笑顔で作品を見せ合ったりしている姿が、印象的でした。

本年度の子どもを育む委員会では、昨年度コロナ禍により実施できなかつた児童の皆さんに向けての全体事業を実施する方向で新年度早々より検討してきました。コロナ禍の現状にも配慮しつつ実行できるイベントを協議する中で3種類の課題「フラワーアレンジメント・勾玉作り・木の表札作り」を用意して、4年生以上を対象に希望形式で募集させていただきました。小学校と会場・コロナ禍の中での注意点を打ち合わせ、7月3日に実施することができました。

コラムかなえ

本年度の子どもを育む委員会では、昨年度コロナ禍により実施できなかつた児童の皆さんに向けての全体事業を実施する方向で新年度早々より検討してきました。コロナ禍の現状にも配慮しつつ実行できるイベントを協議する中で3種類の課題「フラワーアレンジメント・勾玉作り・木の表札作り」を用意して、4年生以上を対象に希望形式で募集させていただきました。小学校と会場・コロナ禍の中での注意点を打ち合わせ、7月3日に実施することができました。

CONTENTS

- **地域振興**
リニア工事確認書の変更について
- **健康福祉**
フードドライブを実施
- **環境衛生**
組成調査を経験して
- **消防団**
消防力向上訓練実施
- **子どもを育む**
各支部の取り組みについて
- **生活安全**
オレオレ詐欺に注意!

地域振興

県道青木東線下山 工区現場確認実施

建設部長 塩澤善郎



7月2日(金)にまちづくり委員会建設部員と飯田市担当課の職員約20名が参加して、現在、県が測量を進めている県道青木東線下山工区の現状の確認を行いました。
当日は、小雨が降るあいにくの天気でありましたが、午後2時にいこいの家に集合し、まず、市国県関連事業課より



県の事業実施状況の説明を受けました。その後、下山西交差点から下山村駅まで2時間ほどかけて、現状の確認を行いました。

実際に現場を見てみると、西交差点の取水ゲートの移動、車川の上にあるゴミ集積所の移動など多くの問題点が出されました。中でも、豪雨などによる増水時の対策については、松川へのバイパス入口の改良、下流域への水量減少方策等市の担当者と具体的な対応を含めて話し合いができました。また、道路、車川ともに老朽化がかなり進んでおり、下山工区の事業が決定したことにほっとしました。

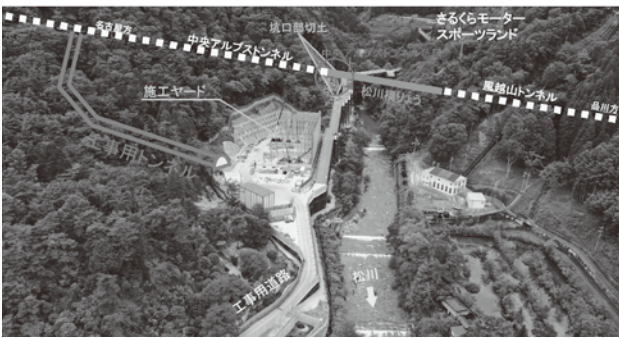
最後に、事業決定に際し、大勢の方々のご尽力に感謝し、一日も早い安心安全な道路の完成を祈念いたします。

リニア中央新幹線地区 四者確認書の変更について

切石区長 前田雄二

松川工区の中央アルプストンネル掘削の本格着工を前に事業者主催の鼎地区住民への工事説明会が、去る7月10日に切石会館において開催されました。

これまで、平成29年12月の工事説明会に基づき「工事車両通行等に関する確認書」が四者(鼎まちづくり委員会・鉄道建設機構・JR東海・飯田市)間で締結されています。現場では妙琴公園内でトンネル建設の前進基地になる作業



ヤードの建設と工事車両の通行する大休妙琴線安全対策工事が行われてきました。

この間まちづくり委員会で飯田市リニア推進課と事業者のJR東海・鉄道建設機構戸田建設JVを招請して平成31年1月の鼎地区民懇談会をはじめ工事車両から住民を守る安全対策について〇切石区対策委員会〇鼎地区対策会議〇通学路に関する懇談会〇工事現場の視察他、3年間で延べ36回開催してきました。

今回の工事説明会は工事の進捗状況と計画の変更(工法・工期・工事車両運行計画・安全対策等)でした。出席者からは事業者側へ工期の延長による安全と環境面の住民への負担の長期化への懸念の他、

飯田市には現在進行中の市道大休妙琴線の改良事業の影響について説明を求めました。欠席者には説明資料と質疑応答の議事録を切石地区の組合回覧に、まちづくり委員会委員へは資料配布されて意見公募が行われ、以下の日程で変更後の四者の確認書が締結されました。

- 8月12日 対策委員会開催
- 8月20日 四者協議会開催
- 8月25日 四者確認書の締結
- 8月30日 鼎住民向け松川ニュース(工事説明会内容と変更確認書)臨時発行

四者協定の主な変更内容

- 1 工事期限: 令和7年5月→令和8年9月に変更
- 2 トンネルの工法: 工事用トンネルで先行掘削(坑口付近の地質が脆く補強等の施工を要する)
- 3 発生土の運搬先: 喬木村阿島を新たに運搬先に追加
- 4 その他: 令和3年7月10日住民説明会内容の厳守

令和3年度 県地区パワーアップ事業一覧表

No.	事業名	申請団体	助成額(円)
1	祭の法被更新事業	下茶屋区自治会	200,000
2	切石獅子舞創設100周年記念事業	切石獅子舞保存会	200,000
3	一色区公民館所蔵掛軸の表装直し事業	一色区自治会	100,000
4	県全区交通安全推進事業	生活安全委員会	279,510
5	県中学校駐車場への照明整備事業	県中学校PTA	368,500
6	選挙関心の大切さ啓発事業	県婦人会	50,000
7	県地区ニュースポーツ推進事業	県公民館	151,800
8	県公民館子育て、健康講座等環境整備	県公民館	396,000
合計			1,745,810

県地区パワーアップ
実施8事業決定

今年度の県地区パワーアップ事業が7月16日の県地区まちづくり委員会役員会にて決定されました。祭り事業や地域の宝事業など8事業に助成が行われることとなりました。

この事業も今年で14年目を数えますが、昨年策定した第4次県地区基本構想・基本計画がめざす将来像実現に向けてた取り組みとなることが期待されます。

社会を明るくする運動
保護司 大前年之

7月5日に、法務省が推進する社会を明るくする運動の一環として県文化センターにおいて公開ケース研究会が開催され、コロナ渦の中いろいろな団体の方々に参加いただきデイスカッションが行われました。この運動の推進委員長は佐藤市長になっております。また、保護司とはどのような活動をしているのか多くの人が知ってもらえる機会にもなっているかと思えます。

少し前までは、保護司は表に出ることがなかったと聞いています。今は更生保護女性会、協力事業主会、BBS会更生保護施設などと連携を取り犯罪や非行を犯した人達の立ち直りを支援し円滑に社会の一員として復帰できるようにする事、また我々が犯罪による被害を受けることを防止して安全で安心して暮らせる社会を実現するという目的をもって保護司の活動を行っています。今は、個人情報等の問題もありますが地域の方々の理解、協力、連携により自分の居場所のない人達をしつかり

ホームページの作成を進めています

HP作成委員会 木下善文

いよいよ、今年の冬に県地区のホームページが開設となります。HP作成委員会では、どんなサイトにすれば良いのか、見た目は？独自性は？どんな世代にも見やすいのか？などなど、様々な可能性について検討を重ねてきました。現在は、方向性も決まり実際にページを作成している段階にあります。

私たちが県地区のホームページに込めた思い。それはここが「県」だということ。県には素敵な人がたくさんいます。もちろん生活に必要な情報やお知らせは大切ですが、それ以上に、このサイトで「県の人に会える」そんな場所にしたかった。

県に住んでいる人も、これから住んでみたい人も、誰もが「素敵な地域だな」と感じてくれるようなサイトになるように作業を進めています。他の地区には無いような素



サポートしていくことが大切かと感じます。この飯田市が、若い人もお年を重ねた方も皆が、住み良い街になっていくことを望んでいます。

乳幼児学級の紹介

県地区では0歳から3歳まで各年齢でクラス分けして、月1、2回程度、乳幼児学級を実施しています。同じ地域に住む同年年の親子で交流し、お子さんが社会性を学ぶことを目的としています。保育士の先生が、お子さんの発達に合わせた遊び方を教えてくれます。また、親子のふれあい体操や、水遊びの道具を作ったり、近くの公園や動物園にお散歩へ行ったりします。たくさんのお親子が参加してくれており、いつも明るく楽しい



雰囲気です。乳幼児学級に参加して、同じ地域に住む親子と交流してみませんか？興味のある方はお気軽に県自治振興センター保健師にお問い合わせください。

ご期待ください！
人の魅力。県10地区の魅力。敵なサイトになります。



健康福祉

夏の絵手紙

ボランティア部会
(東郷) 安藤 浩治

県地区健康福祉委員会では、高齢者の皆様の見守り活動を行っております。現在県地区の見守り対象者は280名程いらっしゃいますが、外を歩けないなど身体を不自由にされている方も大勢います。毎年、委員会では、県中学校JRCの皆さんと一緒に絵手紙を作り、対象の方にお届けしています。



夏の絵手紙お届けします

昨年引き続き、今年も、『コロナに負けない!』という気持ちを込めて、8月の暑中見舞いとしてお届けしています。当日は、絵手紙の指導者である小森ゆみ子先生のもと、野菜・風鈴等を題材に、中学校の皆さんは、熱心に大変上手に描いてくださいました。私も描いてみましたが、絵と文字のバランスがくずれて思ったより難しかったのですが、中学生と共に大変楽しい時間を過ごせました。終了後に、中学校の生徒からとても楽しかったので次回も参加したいという感想をいただき、とてもうれしかったです。



県中JRCの皆さんの力作

県地区フードドライブのご報告
県地区のフードドライブにご理解と多大なご支援をいただいておりますこと、ありがとうございます。6月にはペタンク大会でフードドライブを行う予定でしたが、残念ながら中止となったため、急遽自治振興センターでのお預かりに替えさせていただきました。それにも関わらず多くの方から食糧をお預かりすることができ、米や缶詰・レトルトなど55kgもの食糧をお預かりしました。また、7月に入り、県地区婦人団体連絡協議会の会議にて、県婦人会、日赤分団、食改県支部、JA女性部、小学校PTA、中学校PTAの皆さまからも30kg程の食糧を



多くのご理解ご支援をいただきました

お預かりしました。この他個人の方でセンターにお寄せいただくこともありました。これら皆さまからお預かりした食糧は、飯田市ボランティアセンターに寄附いたしました。この場をお借りしてお礼申し上げます。今後も定期的に開催されるフードドライブにお力添えいただけると幸いです。

飯田市ボランティアセンターより

飯田市ボランティアセンターでは、各地区の自治振興センター、健康福祉委員会や民生委員児童委員協議会等にご協力をいただき、地区内に食料品のご寄付を呼びかける「フードドライブ活動」を行っています。県地区では、令和2年度より独自のフードドライブ活動を行っていたという経過もあり、地区内であたたかい支え合いの活動に取り組んでくださることを、大変ありがたく感じています。現在多くの市民の皆様より、お米や缶詰、レトルト食品等をご寄付いただいております。皆様からお預かりした食料品は、「飯田市生活就労支援センター」まいさば飯田を通して、生活にお困りの方へ食糧支援としてお渡ししています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、飯田市内でも失業や休業により生活に困窮する世帯が増加しており、まいさば飯田への相談者数は前年度の2倍以上となっています。相談者の年齢層は40～50代が多く、令和2年度の食糧支援回数は令和元年度と比べ4割近く増えている状況です。今後も飯田市ボランティアセンターでは、フードドライブ活動等の支え合いの取り組みを通して、市民の皆様のおたたくお気持ちを広げたいと思います。引き続き、県地区の皆様のご協力をお願いいたします。



たくさんの食糧ありがとうございます

環境衛生

組成調査・視察研修の報告

副委員長 関島 晃

日頃より、リサイクルステーションや河川清掃などの環境衛生活動にご協力を頂きありがとうございます。

6月25日(金)市内のグリーンバレー千代、桐林産業公園での視察研修を行いました。

グリーンバレー千代では、県地区より回収された埋立ごみを、本来の埋立ごみ・ガラス瓶・ペットボトル・金属資源・燃やすごみなどの17項目に分けて、少しでも埋立ごみの少量化ができないか、再分別しました。結果、埋立ごみ38kg・資源ごみ11kg・燃やすごみ10kgという内容でした。市の担当者によると、「県地区の分類は良い方」とのこと。埋立ごみも、少し手を掛ける



ことにより少量化できると改めて思いました。

桐林のリサイクル関連施設では、紙資源の建設資材への加工や農業関連へ提供されること。ペットボトルは、裁断し加熱処理後、ペレット状に加工され、繊維やミートなどに加工されることを学びました。感心したのが、飯田市の分別・洗浄がとても優れている点です。ここに集まるペットボトルは、近隣の県からも多くあり、中にはラベルがついたままの物や色付ボトルが混在している物もありました。正しく分別・洗浄することで、業者の買取価格も高くなり、市の財政にも影響すると思われました。飯田市から回収されたペットボトルを見て、



同じ市に住む者として誇りに思いました。

全市一斉 水辺等美化活動

中平支部長 木下 領

去年同様に新型コロナウイルスの影響を心配しましたが、7月4日(日)全市一斉水辺等美化活動が行われました。切石地区は、雨の影響で翌週の11日(日)に実施しました。河川清掃ということで、井水の草刈り、側溝に溜まった砂利や小石、枝草やプラスチックの破片などを分別し、指定ごみ袋へ入れて集積所へ出しました。また、大量に出た草や土砂は、松尾上溝松川河川敷の指定仮置き場へ持込みを行いました。

令和3年度「春のごみゼロ運動」実施報告書

支部名	人数(人)			空き缶(缶)	空きびん(缶)	ペットボトル(本)	燃やすごみ(袋または箱)	埋立ごみ(袋または箱)	金属資源(箱)
	大人	子供	計						
下山	358	10	368	29	9	8	22	5	2
東 鼎	66	0	66	3	1	7	7	2	2
西 鼎	64	5	69	16	0	0	5	3	2
下茶屋	115	14	129	22	17	20	5	1	0
中 平	267	15	282	36	4	13	27	3	2
上茶屋	32	0	32	14	0	7	5	1	1
切 石	449	13	462	25	3	17	14	1	1
上 山	479	20	499	51	10	25	22.2kg	1	2
一 色	199	14	213	49	4	8	9	3	5kg
名古屋	331	47	378	71	21	35	36	31	11
合計	2,360	138	2,498	316	69	140	130+22.2kg	51	23+5.0kg

その他 柱、板、たばこの吸い殻(多量)、傘、ライター、マスク(多数)、ナイロンジャンパー、波板(プラスチック)、雨樋の一部、アンテナ(空地への不法投棄)、乾電池(8本)

皆様のおかげで多くの場所がきれいになりました。ご協力ありがとうございました！



れいにすることができました。また、中平区では河川の清掃後、役員と小学校の先生お2人にも協力いただき、県小学校敷地内の沈砂池(縦10m・横5m・深さ2m)の土砂を汲み上げました。排土は、金山工業様と、(有)カメヤマ様にご協力いただき搬出しました。近辺の草刈りも行い、とてもスッキリしました。

県地区 飯田市合併30周年 記念事業

① サイクルバック

販売しております!! 1枚600円

※販売場所：県自治振興センター (Tel22-7100) どうぞお気軽にお立ち寄りください。





消防団員を募集しています！

団員が不足しています！

仕事や家庭があり、さらに消防となれば負担になること
もありますが、家族や仲間
の協力により活動しています。
年齢や職業の異なる仲間と一
緒に汗をかいたり、苦しんだ
り、笑ったりできる人間関係
は財産になりますし、楽しく
活動できることも多くありま
す。鼎地区の安全を守るため
に一緒に活動してくれる方の
入団を心よりお待ちしております！

気になることがありまし
たら、お気軽にお問い合わせ
ください。

担当 岡本

電話 090-9667-6397

メール

otokam-otomako7891

@yahoo.co.jp

消防力向上訓練

7月18日(日)、座光寺小学
校にて消防力向上訓練が行
われました。

訓練とされていますが、内
容は小規模な操法大会です。
昨年は中止となりましたが、
今年は地区ごとに会場を4つ
に分散する形での開催とな
りました。

6月の中旬頃から週2回
程度の練習を行い、団員それ
ぞれ仕事や家庭の事情など
により、全員がそろって練習
を行うことが難しい状況では
ありますが、鼎分団の消防力
や団結力を高めることができ
ました。



訓練当日は、小型ポンプ操
法の部に分団大会優勝の名古
熊班、ポンプ車操法の部に自
動車班が出場し、練習の成果
を存分に発揮してくれました。
この訓練の成果を、有事の
際にも活かしていきたいと思
います。

水防団として

消防団は火災時だけでなく、
水害等の災害を最小限に
止める水防団としての活動も
行います。

例年ですと6月初旬に水防
訓練があり、土のうの作り方
や積み方、堤防のシート張り
工、ロープの結び方などの講
習を受けますが、今年は中止
となりました。ですが、鼎消
防団にはそういった訓練を何
度も受けたベテラン団員が複
数人おり、土のうやブルーシ
ートなどの備蓄品もあります。
昨年は豪雨により井水の水
が溢れて、床下浸水や道路の
冠水などが鼎地区でもありま



した。また、三六災害では野
底川の氾濫により西鼎地区な
どは甚大な被害を受けたと聞
いております。

我々消防団員の一人一人の
力は微力ですが、団員同士の
団結、地域との団結により、
大きな力になると思います。
台風や豪雨などによる水害
に対応できるよう、今後も努
めてまいりたいと思います。



生活安全

7月22日～31日
夏の交通安全やまびこ運動が実施されました

人波ルート作戦

夏の交通安全やまびこ運動の7月21日(水)午前7時より、切石体育館前交差点で上茶屋、切石、上山、一色、名古熊の役員41名が「交通安全」ののぼり旗や手旗を持ちドライバーに安全運転を呼びかけました。



今回は、OIDE長姫高校の地域人教育で鼎地区を担当する高校生8名にも参加していただきました。今まで以上に地域一体となって交通安全を呼びかけることができました。

OIDE長姫高校のみなさんありがとうございました!



交通指導所開設

7月25日(日)に切石体育館前交差点で交通指導所を開設し、役員24名が参加しました。交通事故ぼうしマスコットの



入った啓発物を、信号待ちで停車中のドライバーに事故のないよう声かけをしながら配布し、交通安全を呼びかけました。

夏の防犯パトロール

毎年8月と12月、鼎各支部の防犯・施設管理委員会を中心に、コンビニ・空き家・公園等のパトロールと防犯灯・交通安全施設の点検を行っています。また、毎月各支部交代で青色回転灯を装備した自動車地区内の安全パトロールも行っています。
「地域住民自らが地域ぐるみでまちの安心を見守っている」ことをアピールすることで、犯罪を未然に防止し、安全で安心なまちづくりを目指しています。

パトロールの様子、
蛍光ベストを着用し、誘導棒を持って役員数人で行っています。



8月2日午前10時20分頃、鼎地区で
オレオレ詐欺の前兆と思われる
事案が発生しました!!!

家族の絆でSTOP 特殊詐欺!

特殊詐欺の被害に
遭わないための対策について、
家族で話し合しましょう!

第2回
ながの振り込め詐欺撲滅川柳受賞作品

知事賞(一般の部) 雅号 デニガ・コウメイ

コロナ禍も 詐欺師はリモート 自粛なし

大賞(一般の部) 雅号 マオマオ

もしもしの 続きが金なら 110番

知事賞(中学・高校生の部) 雅号 ラプラス

特殊詐欺 いつでも「新型」あらわれる

大賞(中学・高校生の部) 雅号 あるくまくん

すぐ大金 おろすな渡すな ぶり込むな

飯田警察署 特殊詐欺被害防止動画

謎の防犯ヒーロー出動!

還付金被害阻止編 (特報 Ver)



こちらのQRコード
からご覧になれます。

子どもを育む

一色 夏休み一色塾

今年度の一色塾は、7月26日(月)から7月28日(水)の3日間一色公民館にて開催いたしました。連日45名程の大勢の子ども達が参加し、感染予防対策を講じながら前半は自主学習、後半は子どもを育む委員会によるお楽しみ企画を行いました。

1日目は、「お菓子釣りゲーム



ム」として委員会で考案した手作りの竿を使って好きなお菓子を釣りました。みんな一点に集中し釣れた瞬間笑顔の表情に変わり嬉しそうな子ども達でした。

2日目は、かざこし子どもの森公園さんによる体験会「染め紙でうちわ作り」を行いました。個性豊かな色使いでオリジナルうちわを作ることができました。

最終日3日目は、「プロジェクト」で映画鑑賞をし、大きなスクリーンで迫力ある映像を集中して最後まで観ることができました。

子ども達の夏休みの楽しかった思い出に貢献することができました。今後も子ども達が安心して学習に取り組める場として「一色塾」を継続していきたいと思えます。

石切区 切石子ども夏まつり

夏休みに入って最初の日曜日の7月25日、大袋グラウンドで「切石子ども夏まつり」が開催されました。

コロナの蔓延により各種行事が見送りとなる中、PTA、公民館、子どもを育む部の役員が、コロナ対策を第一に考慮した「子ども夏まつり」を企画し自治会に提案したところ、区役員、壮年団も参加した実行委員会が立ち上がり、「地域の宝である子ども達に楽しい思い出を」、「元気の切石区づくり」を主旨に、区をあげての開催となりました。夏まつり当日は150名の子ども達が参加し、ヨーヨー釣り、サッカーボール割、輪投げ、スイカボール割、水鉄砲シャ



ボン玉などのゲームや区長とのジャンケン大会で数々の景品を獲得。おにぎりを食べてから、全員で一斉に手持ち花火大会。最後は切石区の花火師の方々のご厚意によるナイアガラや焼字の花火に大歓声。帰途につく子ども達の満足した笑顔に実行委員会の面々は感無量でした。

上山 子どもの笑顔

今年度もいまだコロナ禍という中で、上山区の春季祭典は日程や規模を大幅に縮小して行われましたが、子ども達の獅子舞への参加はできました。

区と鼎のペタンク大会は中止になり、納涼祭・秋季祭典のお神輿も中止。宿題やらまいは期間を短縮し感染対策

を行い何とか開催いたしました。が、昨年度とほとんど同じようなさみしい上半期になってしまいました。

そこで少しでも夏休みの思い出になればと上山公民館や小学校PTAと協力して上山区の小学生に手持ち花火セットを贈らせていただきました。PTAの役員さんを通じてお渡しいただいたのですが、その時の子ども達の笑顔がとてもステキだった。癒された。などの感想をお聞きしました。「子どもの笑顔は地域の宝」ということを改めて実感いたしました。

今年度も残り半分ほどとなりましたが、今後の事業・行事は感染状況にもよりますが対策・工夫をして行うことで子ども達の笑顔がたくさん見られれば嬉しいです。

